

10290  
(891)

## 平成24年度 NPO法人ぱれっと 事業報告書

### 地域支援事業所ぱれっと事業報告

平成24年度においては、法人名を「地域支援と高齢・障害の垣根を越えた社会保障を考える会」から「NPO 法人ぱれっと」に変更する事からスタートした。

また、開設から6年を経過する事業も多く、その都度指定更新手続きを実施するなど事務処理に追われた一年でもあった。

事業では、人力的問題などもあり、ケアホームをはじめ新規の事業の開始には至らず各実施事業の継続と維持を何とか行った一年になった。しかしながら、課題としたスタッフ間の連携強化やサービスの質の向上などは、グループワークを取り入れた研修会を開催、頻度良く行った各事業のサービス調整会議などにより少しずつ図れてきたと感じる。ただ人事面では、退職した職員の代わりが見つからない、非常勤職員の定着率が良くないなど運営面での不安材料は強くなっている。

いずれにおいても、各々の負担が大きくなる中、大きな問題を出さず取り組めたのはスタッフの事業へ取り組む姿勢と努力の賜物であり評価したい。

次年度については、今年度の反省点をもう一度見直して検証し、継続してスタッフが安心して働ける場所に、利用者が安心して信頼して使える事業所になるよう取り組みたい。

また、ケアホームをはじめ新規事業への準備を進めながら、各事業においてもわずかでも発展するように考えていきたい。

#### 1 就労系事業

就労継続 B 型(定員14名)では、利用者に変動なく前年度の継続しながら事業を展開した。作業においては、ワックス作業やネットワーク(西区地域自立支援協議会)を通しての仕事など新規の作業を加えながらも大きな変動はなく、内部、外部の作業ともに概ね安定しており、順調に経過している。また、作業以外にも、初の日帰り旅行の実施や、行事やスポーツ活動などの取り組みが増え、充実してきてきたことも多い。

また昨年度反省に挙げた家庭との連携をはじめとする「家族支援」のあり方などへ踏み込みについては、十分とは言えないが、少しずつ取り組みができていく。次年度は、利用者も増えることが決定しており、より一層の仕事の導入、アセスメントや支援計画の作成などさらに充実させていきたい。

※ 就労継続B型 利用者 16名

#### 2 デイサービス 生活介護

介護保険法によるデイサービスでは継続して 2 号被保険者を中心として取り組み、継続して

障害者自立支援法の生活介護事業とともに展開してきた。

デイサービスにおいては、小さな利用者の変動があった。また、長期入院者も出るなど年間を通し変動する状況の中で臨機応変な対応が求められ、経営面でも厳しさが出た。生活介護の利用者は、変動なく利用者増への働きかけが必要といえる。

内容としては、主に外出を多く取り組んでいくことを目標としてあげた。毎月とはいかないが、工場見学や大阪、森林植物園など多くの所に出掛けた。また日常的な外出も利用者の希望になるべく答えてきた。目標の「外に出るデイサービス」は少しずつ出来あがってきた。ただ、スタッフ状況としては昨年同様に変則勤務の体制によるスタッフ間の連携不足や職員関係が課題として大きくなってきており、早急な改善が必要な状況にある。またデイサービス、生活介護いずれにおいても利用者の個別支援が不十分な状況にあり課題となっている。

次年度においては、さらに、デイサービスの特徴を探りながら、体制見直し、会議等の確保など早急に改善して適切な支援ができるようにしなければならない。また支援計画をはじめ「第三者評価」の指摘点等の改善の改善もしっかり取り組まないといけない。

※デイ利用者数 14名 生活介護利用者数 6名

### 3 在宅支援(居宅介護 移動支援等)

障害者自立支援法における訪問系サービス(居宅介護 重度訪問介護 行動援護 神戸市移動支援事業 明石市移動支援事業)の他、法人独自の有料サービス(たすけあいサービス 外泊支援など)継続して実施してきた。ヘルパーの増員は図れず、サービス量は必要性の高い新規の利用者への対応を少しだけ行ったのみになった。

また、支援計画を初め書類の整理不足は現在も続いている。しかしながら、ヘルパーは、若干ながら経験を積み少しずつ知識技術を高めてきたようにも感じる。

次年度は、サービス提供責任者を中心とした担当制をより強固にしてより充実した支援提供体制を創りたい。事業所内サービス調整会議の体制も強化したい。

※(各利用者数) 居宅介護数 19名 重度訪問介護 2名 行動援護 9名

神戸市移動支援 69名 明石市移動支援 7名 独自サービス(固定利用者)7名

### 4 ガイドヘルパー養成研修

今年度についてはガイドヘルパー研修ができなかった。原因としては、日常的な人員不足(スタッフ)で、ガイドヘルパー研修等に人員を割くことができなかったこと。

一年を通し、ガイドヘルパーの研修への希望(問い合わせ)は多く、次年度は、早い時期に実施していきたい。

### 5 相談支援事業

神戸市より平成25年1月1日付で、特定相談支援、地域相談支援、障害児相談支援事業の

指定を受けた。これにより、今後実施される、計画相談、必要とされる、地域定着、地域移行支援が実施可能となり、法人として実施していく準備は整った。現在地域のセンター等と関係づくりを優先に行いながら相談事業をスタートさせていきたい。

## 6 総務経理

事務長を軸とする総務機能を作ってきた。予算、労務等の引き継ぎは概ねできてきた。次年度については、事務規定などを用意しよりしっかりとした総務体制を創り周知していく。また、人材の採用等にもさらに力を入れていく必要がある。

## 7 防火管理 安全運転管理 車両整備

### 防火管理

消防設備が、業者による定期点検(消防署に報告)があり、避難訓練2回実施した。まだ不十分ではあるが昨年度よりも取り組みを深められた。

### 安全運転管理

講習等も受け、安全管理者をおいた。まだ研修まではできていないが、会議での運転注意など行い、ポスター掲示などで安全運転を働きかけることができた。

### 車両整備

整備管理講習等を受け、整備管理者の届出も行った。整備管理者を軸に故障や整備に付いての対応システムができつつある。また、知識の多いスタッフを車両担当付け、中心的に関わってもらった。

## 8 その他

### 1) ネットワーク

KWN(西区自立支援) 川田が「くらす部会」部会長兼「在宅支援ネットワーク」のネットワーク長として参加し、主催の研修会や会議等には、可能な範囲でスタッフのさんかを実施してきた。

### 135Eネット(明石障害者ネットワーク)

十分な参加はできていないが、就労の仕事を通し関係を続けている。

### 兵庫セルブ

継続し加盟している。

### 枝吉自治会 以上に参加

可能な範囲でネットワークには参加してきた。特に西区のネットワークには多くのスタッフに関わりを持てた。しかし、重要な地域(枝吉等)での活動ができていないのは反省点。

### 2) 職員研修

職員会議を事務連絡と職員研修の機会とし、月1回程度の研修を実施した。内容は

主にグループワーク形式の研修とし、皆が発言できるような環境とテーマを用意して実施した。それにより発言なども活発に出て皆が参加できる有意義な研修が続けられた。

また、外部の研修にも参加した(主に社協主催研修)。24年度は数名の参加しかできなかったが、次年度は常勤職員が年1回程度参加できるような研修計画を立てていきたい。

#### まとめ

経営的には現状維持を軸に、職員の資質向上による利用者支援の向上を目指した一年であった。成果はまだ十分な結果にはつながっていないが、法人の理念やぱれっとの目指すべきことを考えるに、よい一年であったと思われる。

振り返ると、できていないところ多く、頭書の計画を変更し未実施になったことも少なくはないのが反省の材料になるが、次年度においてもまずは、今年度の実施してきたことを引き続き取り入れながら、それぞれの事業がより発展させることができるよう取り組んでいきたい。



# 平成24年度 貸借対照表

平成25年3月31日現在

NPO法人ぱれっと

科目・摘要		金額(単位:円)	
<b>I 資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>			
現金預金	①	15,106,699	
収入確定(売掛)	②	14,992,500	
立替金	③	41,800	
未収入金	④	353,300	
前払費用	⑤	4,490,800	
流動資産合計(A)			A 34,985,099 ①~⑤の合計
<b>2 固定資産</b>			
有形固定資産			
建物附属設備	⑥	99,561	
工具器具備品	⑦	63,475	
投資等			
敷金	⑧	1,570,000	
長期前払費用	⑨	360,000	
固定資産合計(B)			B 2,093,036 ⑤~⑨の合計
資産の合計(ア)			ア 37,078,135 A~Bの合計
<b>II 負債の部</b>			
<b>1 流動負債</b>			
未払金	⑩	2,056,549	
未払法人税等	⑪	3,769,700	
未払費用	⑫	1,987,970	
預り金	⑬	638,927	
			D 8,453,146 ⑩~⑬の合計
<b>2 固定負債</b>			
長期借入金	⑭	11,900,000	E 11,900,000
			イ 20,353,146 D~E合計
<b>III 正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産(ウ)			ウ 11,492,359
当期正味財産増加額(減少額)(エ)			エ 5,232,630
正味財産合計(オ)			オ 16,724,989 (ウ+エ)
負債及び正味財産合計(カ)			カ 37,078,135 (イ+オ)

# 平成24年度 財産目録

平成25年3月31日現在

NPO法人 ぱれっと

科目・摘要		金額(単位:円)	
<b>I 資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>			
現金預金			
現金	現金手許有高(本部)	①	150,079
現金	現金手許有高(作業)	②	44,910
預金	三井住友銀行 ①	③	5,679,157
預金	三井住友銀行 ②	④	95,554
預金	三井住友銀行(明石)	⑤	4,647,274
預金	みなと銀行	⑥	120,113
預金	郵便局	⑦	3,984,502
預金	郵便局振替口座	⑧	385,110
売掛金		⑨	14,992,500
未収入金		⑩	353,300
前払費用		⑪	4,490,800
立替金		⑫	41,800
流動資産合計(A)		A	34,985,099
			①～⑫の合計
<b>2 固定資産</b>			
有形固定資産			
建物附属設備		⑬	99,561
工具器具備品		⑭	63,475
投資等			
敷金		⑮	1,570,000
長期前払費用		⑯	360,000
固定資産合計(B)		B	2,093,036
			⑬～⑯の合計
資産の合計(ア)		ア	37,078,135
			A～Bの合計
<b>II 負債の部</b>			
<b>1 流動負債</b>			
未払金		⑰	2,056,549
未払法人税等		⑱	3,769,700
未払費用		⑲	1,987,970
預り金		⑳	638,927
		C	8,453,146
			⑰～⑳の合計
<b>2 固定負債</b>			
長期借入金		21	11,900,000
		D	11,900,000
負債合計(イ)		イ	20,353,146
			C～Dの金額
正味財産(ウ)			16,724,989
			ア～イ

上記は財産目録である。

NPO法人ぱれっと  
理事長 朝尾 浩康

